

基本的な流れ

「学習計画書」の1つの学習項目(プリント)を、ひとつのまとめりとして学習します

準備

「教材ファイル，計算紙，学習記録用紙」を準備する
教材をインターネットからダウンロードし，印刷する

マニュアル「準備」を参照

学習 & 学力化

学習は，次の2段階で進めます。 マニュアル「学習 & 学力化」を参照

例題研究

- (1) ここでは，言葉や記号，問題を解く時の考え方や答案の書き方を覚えます。
- (2) 基本的には，次の2つのステップで進めます。
- (3) ここでは，すべて，**プリント教材**を使って学習します。
(インターネットは，ここでは使いません)

【1】知識の整理

1. 準備するもの プリント **知識の整理**
2. 勉強のしかた [ねらい]：言葉や記号の意味や使い方を覚えます。
[やり方]：プリントを読んで，内容を理解します。

【2】解法の学習

1. 準備するもの プリント **解法の技術** と **理解のチェック**
計算紙
2. 勉強のしかた [ねらい]：問題を解く時の考え方や答案の書き方を覚えます。
[やり方]：
) プリント **解法の技術** を読み，内容を理解します。
) プリント **理解のチェック** を見て，空欄に入れる文字や数値を，**計算紙** に書きながら覚えます。
) 覚えたら...
何も見ないで，**理解のチェック** を書きます。

問題演習

- (1) ここでは，問題演習を行うことにより，例題研究で学んだ「解法の技術」を応用する力を身につけます。
- (2) 学力の到達目標に応じて，A(学習)とB(学力化)の2段階に分けて学習します。

A(学習)

(ここでは、「わかる」ことを目標とする学習をします)

1. 準備するもの {
 - プリント 演習
 - インターネットで，プリントと同じページの《学習》画面を表示しておきます。
 - 計算紙
2. 勉強のしかた
 - [ねらい]： 解法の技術 で学んだ解法を応用する練習をします。
 - [やり方]： パソコンの《学習》画面の [答案] の部分を見ながら...
空欄に入る文字や数値を「計算紙」に書き，答案を完成します。



以下の部分は，家庭での作業になります

B(学力化)

(ここでは、「できる」ことを目標とする学習をします)

1. 準備するもの {
 - プリント 演習
 - インターネットで，プリントと同じ学習項目()の《表紙》画面を表示しておきます。
 - 計算紙
2. 勉強のしかた
 - (1) 学力化
 - [ねらい]： 演習 の問題について，解法のガイド(コメント)がなくても問題が解けるようにします。
 - [やり方]： (4つの作業があります)
 -) **学力化トレーニング**
 - プリント 演習 を見て，このプリントの書式にそって答案が書けるように， 計算紙 に練習します。
 -) **チェック** ←
 - 答案が書けるようになったら，プリント 演習 を書きます。
 - 書き上げたら，《解答》画面を見て，答合わせをします。
 -) **学習結果の記録**
 - ・プリント右上に，学習日を記入します。
 - ・問題プリントの《C・B・A》のいずれかに をつけます。
 - ・「学習記録用紙」の《C・B・A》のいずれかに をつけます。
 -) **学力化・再トレーニング**
 - 間違った(C評価)ときは，学力化トレーニングからやり直します。

(2) 学力化チェック

[ねらい]：学力化でC評価であった問題の再チェックをします。

[やり方]：学力化の1週間後以降に行います。

「学習記録用紙」を見て、C評価の問題を印刷します。

資料を見ないで、解きます。) **チェック** へ



後処理

学習がおわったら、プリントは「教材ファイル」に、番号順に綴じておきます。

「学習記録用紙」は、いつもファイルの一番上に綴じておきます。

数学力を確実にアップする「数専ゼミ・学力化メソッド」の概要の紹介でした

→ 体験学習をどうぞ **《受講券》** へ